

みずほCustomer Desk Report 2024/01/26 号 (As of 2024/01/25)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.85
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.59	1.0880	160.62	1.2718	0.6575
SYD-NY High	147.95	1.0903	160.89	1.2742	0.6610
SYD-NY Low	147.08	1.0822	159.70	1.2682	0.6567
NY 5:00 PM	147.65	1.0846	160.17	1.2711	0.6585
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,049.13	242.74	日本2年債	0.0600%	0.0000%
NASDAQ	15,510.50	28.58	日本10年債	0.7500%	0.0300%
S&P	4,894.16	25.61	米国2年債	4.2984%	▲0.0836%
日経平均	36,236.47	9.99	米国5年債	4.0009%	▲0.0894%
TOPIX	2,531.92	2.70	米国10年債	4.1194%	▲0.0597%
シカゴ日経先物	36,075.00	▲ 205.00	独10年債	2.2820%	▲0.0515%
ロンドンFT	7,529.73	2.06	英10年債	3.9825%	▲0.0240%
DAX	16,906.92	17.00	豪10年債	4.2490%	▲0.0020%
ハンセン指数	16,211.96	312.09	USDJPY 1M Vol	8.38%	▲0.42%
上海総合	2,906.11	85.34	USDJPY 3M Vol	9.11%	▲0.15%
NY金	2,017.80	1.80	USDJPY 6M Vol	9.44%	▲0.04%
WTI	77.36	2.27	USDJPY 1M 25RR	▲1.14%	Yen Call Over
CRB指数	272.40	1.42	EURJPY 3M Vol	8.68%	▲0.04%
ドルインデックス	103.57	0.34	EURJPY 6M Vol	9.22%	▲0.02%

東京	東京時間のドル円は147.59レベルでオープン。仲値近辺では5・10日に伴う実需の売り買いが交錯する展開。もともと、海外時間に予定されている米経済指標やECB理事会の結果を控えて様子見姿勢も強く、動意を欠く推移となった。結局、147.82レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.82レベルでオープン。午後に欧州中央銀行の政策決定を待つ中、欧州株は若干のリスクオフ。ドル円もやや円高推移で147.75レベルでNYに渡った。なお本日、ノルウェー中銀と南ア中銀が予想通り政策金利を据え置いた。通貨クローネとランドは決定後買いで反応した。またトルコ中銀は予想通り1週間レホレートに2.5%ポイント利上げし45%とした。決定直後は買いで反応した通貨リラだったが、中銀声明で利上げサイクル終了が示唆されると一転下落に転じた。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台半ばでスタート。五・十日に伴った実需の買いから、147.88まで上昇。その後は米経済指標の結果待ちムードが広がり、147.60付近を挟んだ膠着感強い値動きが続き、147.75レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米第4四半期GDP(速報値)や、個人消費のヘッドラインが予想を上回り、発表直後はドル買いが優勢となり、147.95まで上昇。しかし、その後は前述の米GDPの結果が前回より低下している事や、同時に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に悪化した結果が嫌気され、米金利低下に追随し、147.08まで反落。その後、欧州株が反発する展開や、米長期金利が戻す動きを横目に、147.90付近まで反発する。午後は買い一巡となり、小幅反落し147.65レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。ECB理事会の結果発表を控え、1.0890を中心とした狭いレンジ推移が続き、1.0888レベルでNYオープン。朝方はECB理事会が主要政策金利を4.50%に据え置く事を発表。その後に行われたラガルドECB総裁の記者会見では「ユーロ圏経済のデータは短期的に弱さを示唆し続けている」、利下げ開始時期については「夏の可能性が高い」との見方を維持した事を受け、ユーロ売りが優勢となり、1.0822まで下落。午後は1.0830付近を挟んだ上値重い展開が続き、1.0846レベルでクローズ。

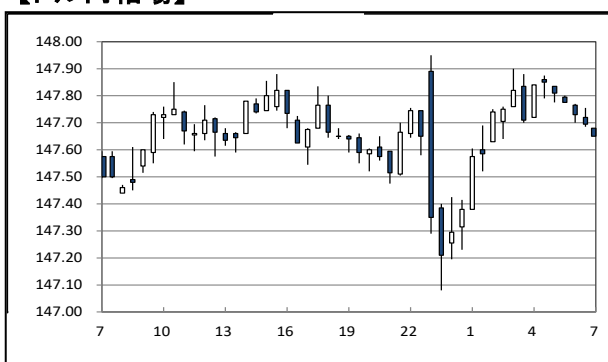
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月25日	18:00	独 IFO企業景況感指数/現況/期待	1月 85.2/87.0/83.5	86.6/88.5/84.8
	22:15	欧 ECB主要政策金利	25-Jan 4.5%	4.5%
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	12月 -0.15	0.06
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q 3.3%	2.0%
	22:30	米 個人消費	4Q 2.8%	2.5%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	12月 0.4%	-0.2%
	22:30	米 耐久財受注(前月比) / 除輸送用機器	12月 0.0%/0.6%	1.5%/0.2%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	20-Jan 214k	200k
1月26日	00:00	米 新築住宅販売件数	12月 664k	649k

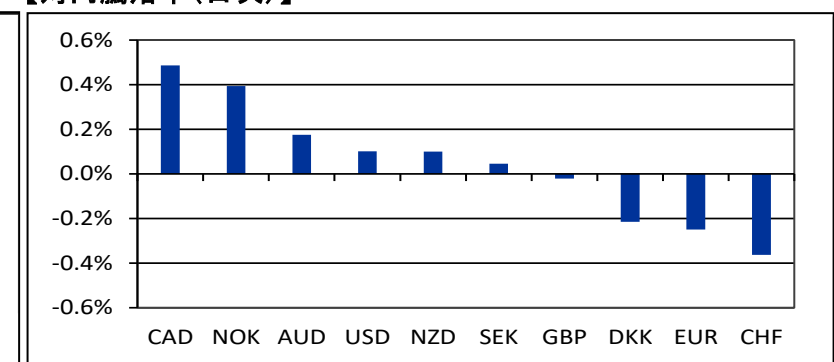
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月26日	08:30	日 東京CPI	1月 2.0%	2.4%
	08:30	日 東京コアCPI	1月 1.9%	2.1%
	08:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨公表	12月18-19日開催分	
	22:30	米 PCEデフレーター(前月比)	12月 0.2%	-0.1%
1月27日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	12月 2.0%	0.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-148.00	1.0800-1.0900	159.00-161.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円はほぼ変わらず。東京時間は米10～12月期GDP速報値やECB理事会を控える中、狭いレンジ内で推移。NY時間朝方に発表された米10～12月期GDP速報値は予想対比強い結果かつコアPCE価格指数が市場予想と一致の2.0%となり、米経済のソフトランディングへの見方が強まったか米株買い、米2年金利の低下で市場は反応。ドル円は米経済の強さと米金利の低下を両にらみする格好となり、反応は限定的。その後ECB理事会においては中銀預金金利4.0%据え置き、声明文もサプライズなし。その後のラガルド総裁の会見において利下げの折り込みを支援する内容となり、EURは対ドルで下落、ドル円は下落で反応するも続かず、前日比ほぼ変わらずでクローズ。本日のドル円は方向感に欠ける展開を予想する。ここもとの円安のドライバーの一つとみられる日本株の上昇に伴う円売りも一服感があり、米金利についても月末の入札を終え、来週のFOMCを控える中大きく動くことは想定し辛い。ドル円固有の材料に欠ける環境下ではあるが、147円割れを試す展開となれば短期のフロー主動で下落する可能性には留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 中山・田川